

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに次のステップへ向けて取り組む目標を職員一同で話し合いながら作成します。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

| 【目標達成計画】 | | | | | |
|----------|------|----------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------|------------|
| 優先順位 | 項目番号 | 現状における問題点、課題 | 目標 | 目標達成に向けた具体的な取り組み内容 | 目標達成に要する期間 |
| 1 | 20 | 馴染みの方や場所との関係性の継続に努めているものの、心身機能の低下された方においては外出の機会等も減ってしまい、活動機会が失われつつある。 | 車椅子利用者や身体機能低下があっても、外出や活動機会を継続したい。 | 車椅子送迎車が1台増えたので、天気の良い日はドライブ・ピクニック等の機会を増やし、ご家族にも参加していただくなど交流の機会も設ける。 | |
| 2 | 43 | 現在半数以上の方がリハパンを使用されているが、尿意はあり歩行も可能なのでトイレでの排泄を行っている。リハパンの使用から布パンに移行できる方もいるものと思われる。 | リハパンの使用を減らし、布パンへの移行を進める。 | 一度に取り組むのではなく、一人一人の排泄パターンを把握し、定時誘導と本人の意欲を見ながら時間をかけて取り組んでいく。 | |
| 3 | 45 | 現在週2回ペースで入浴を行っているが、本人の希望に沿っているかははっきりした把握が出来ていない。 | 本人の要望に合わせた入浴機会を増やしたい。 | 現在午前中入浴を基本としているが、利用者の要望と職員の勤務配置とを照らし合わせ、午後や夕方の希望にも沿いたいと考えている。 | |
| 4 | 56 | 利用者の思いを汲み取れるようコミュニケーションを重視し、センター方式を活用したケアを目指していますが、依然発展途上で利用者ニーズを汲み取れずにいる方も多い。 | 利用者をさらに深く理解する。 | それぞれの利用者担当職員が責任をもって個別ケアに取り組み、互いの情報を持ちより月2回はモニタリングを行って利用者の変化・ニーズを汲み取れるようにする。サービス計画の具体化が必要。 | |
| 5 | | | | | |

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。